



南魚沼市

第2回臨時会／6月定例会号

5月12日／6月2日～13日

議会だより

No.83

2025年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 清塚 武敏
●編集：議会広報編集特別委員会



「浦佐大煙火大会」写真提供：竹内雅之

目次

令和7年第2回臨時会…………… 2ページ
令和7年度一般会計予算審議…………… 3～4ページ

議決結果…………… 5ページ
一般質問 16名が市政を質す …… 6～13ページ

令和7年
第2回
臨時会

令和7年第2回臨時会は、5月12日に開かれました。
報告案件が補正予算の専決処分2件、条例改正の専決処分3件、一般議案が条例改正1件、財産の取得案件6件、工事契約案件3件、合計で15件について審議等を行いました。

Q 農業用機械整備支援事業の継続の考えは。
A 継続するかはこれからの課題である。

Q 農業用機械整備支援事業の受付状況は。
A 合計124件の申請を受け付けた。トラクターが29件、コンバインが27件、色彩選別機が18件、乾燥機が12件、田植機が11件、あぜ塗り機7件などとなっている。

● 農業振興対策補助事業費
9,000万円

令和7年度 南魚沼市
一般会計補正予算（第1号）

9,000万円追加し、
426億5,000万円に

令和7年 第2回臨時会の全議決結果
(傍聴者 3人)

議決結果の詳細は
ウェブサイトでご覧いただけます→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第3号報告	専決処分した事件の承認について（令和6年度南魚沼市一般会計補正予算（第10号））	承認（全会一致）
第4号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第5号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市入湯税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第6号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第7号報告	専決処分した事件の承認について（令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第1号））	承認（全会一致）
第42号議案	大原運動公園条例の一部改正について	可決（全会一致）
第43号議案	財産の取得について（消第4号 小型動力ポンプ付軽積載車（消防団仕様）8台）	可決（全会一致）
第44号議案	財産の取得について（消第5号 消防救急デジタル無線設備（携帯型無線装置）28台）	可決（全会一致）
第45号議案	財産の取得について（消第8号 高規格救急自動車（シャシ・艀装）1台）	可決（全会一致）
第46号議案	財産の取得について（建備第1号 ロータリ除雪車（2.6m級）1台）	可決（全会一致）
第47号議案	財産の取得について（建備第2号 小形除雪車（1.5m級）1台）	可決（全会一致）
第48号議案	財産の取得について（防備第1号 防災用モビリティイレ 1台）	可決（全会一致）
第49号議案	工事請負契約の締結について（スポ工第1号 大原運動公園野球場スコアボード改修工事）	可決（全会一致）
第50号議案	工事請負契約の締結について（スポ工第2号 二日町体育館耐震補強・改修工事）	可決（全会一致）
第51号議案	工事請負契約の締結について（新ごみ工単第1号 旧し尿処理施設等解体（第1期）工事）	可決（全会一致）
議案番号	議員発議	議決結果
発議第1号	南魚沼市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）

全国市議会議長会より 自治功労者表彰を受けました

市議会議員として市政の振興に努めた功績により表彰を受けました。同じく、北信越市議会議長会からも表彰を受けました。
(以下敬称省略)

在職15年以上 表彰

鈴木 一
塩谷 寿雄
桑原 圭美
小澤 実
黒滝 松男

写真

左上から 塩谷、桑原、小澤
左下から 林市長、鈴木、
黒滝、清塚議長



令和7年度 一般会計補正予算（第2号）

27億9,983万円追加し、
454億4,983万円に

検討中である。



新規加入者へのポイントプレゼントなど現在

●南魚沼ポイント会が事業主

●米っこカードのポイントを活用して物価高騰対策を行うという内容だが、内容は。

●商業振興補助事業費 900万円

●大学との連携協定を目指して取り組んでいきたい。具体的には、6つほどの大学を想定して、ゼミや地域実習などで活動してもらう中で関係人口を増やしていく。

●首都圏の大学との連携事業ということだが、内容は。 1,200万円

●地域活動支援事業費

●坂戸城跡は国指定の史跡になっており、計画に基づいて整備、保存している。計画が見直されたときに検討になると思う。

●文化財等保護費 33万円

●坂戸山薬師尾根登山道で、倒壊の危険がある樹木の除去を行うということだが、新たな植樹の検討は。

●クラウドファンディングで導入した自治体のリタンの例に倣い、トラックに南魚沼市を象徴するようなデザインを施し、その一つの面に寄附者名、団体名などの記載を考えている。

●防災一般経費 44万円

●防災用モビリティトイレの購入費用の一部をクラウドファンディングで賄うための事業実施委託料ということだが、クラウドファンディングのリターンはどのように考えているのか。

令和
7年

6月定例会

6月定例会は、6月2日から13日に開かれました。主に補正予算や契約関係、条例改正について審議を行いました。

Q&Aは一部のみを掲載しています。



録画映像配信をご覧ください

その他議案

第56号議案

●令和7年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第1号）

Q 新健診施設について、企業債に1億円を増額するということだが、理由は。

A 既存の受付システムの使用を考えていたが、自治医科大学の専門家と検討した結果、より進んだシステムにすることによって、市民の利便性も飛躍的に向上し、人員・人件費の節約、ウエブ問診など、経営管理上もよいと判断した。



第57号議案

●南魚沼市景観条例の制定について

Q 勧告を受けた者が従わなかった場合に、罰則規定はあるのか。
A 罰則規定は上位法の景観法で設けている。

常任委員会 管内調査報告

産業建設委員会

令和7年4月16日(月)

①スキー場の入込状況及び観光の現状について

社会厚生委員会

令和7年4月17日(火)

①介護施設大規模改修緊急5か年事業について（現地調査）
②上町小規模保育園の運営状況について（現地調査含む）



特別養護老人ホームみなみ園



上町小規模保育園

総務文教委員会

令和7年4月21日(月)

①学童保育クラブの現状と課題について
②子ども・若者相談支援センターの現状と校内教育支援センター設置について
③ふるさと納税について

賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表記しています。

○＝賛成 ×＝反対 棄＝棄権 欠＝欠席 除＝除斥

※議長は採決には加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。

※除斥（じょせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加ができない制度です。

会派	南魚みらいクラブ								歩む会			市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団		無所属
氏名 議案	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい	中沢道夫	勝又貞夫
第69号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第72号議案	○	○	○	※	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○

令和7年6月定例会の全議決結果

(傍聴者 延べ50人)

議決結果の詳細は
ウェブサイトでご覧いただけます➡

議案番号	市長提出議案	議決結果
第52号議案	令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第53号議案	令和7年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第54号議案	令和7年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第55号議案	令和7年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第56号議案	令和7年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第57号議案	南魚沼市景観条例の制定について	可決（全会一致）
第58号議案	南魚沼市下水道条例の一部改正について	可決（全会一致）
第59号議案	南魚沼市水道給水条例の一部改正について	可決（全会一致）
第60号議案	南魚沼市火災予防条例の一部改正について	可決（全会一致）
第61号議案	南魚沼市ディスプレイ設置条例の一部改正について	可決（全会一致）
第62号議案	南魚沼市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第63号議案	南魚沼市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第64号議案	市道の路線変更について	可決（全会一致）
第65号議案 第66号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について（2議案）	同意（全会一致）
第67号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字塩沢財産区）	同意（全会一致）
第68号議案	工事請負契約の締結について（大改小第1号 北辰小学校大規模改修（その2）工事）	可決（全会一致）
第69号議案	工事請負変更契約の締結について（六給工第1号 南魚沼市統合学校給食センター整備事業）	可決（賛成多数）
第70号議案	令和7年度南魚沼市一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第71号議案	工事請負契約の締結について（財開工第1号 新大巻地域開発センター新築（建築）工事）	可決（全会一致）
第72号議案	工事請負変更契約の締結について（六給工第1号 南魚沼市統合学校給食センター整備事業）	可決（賛成多数）



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

一般質問とは…議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたですもの。



歩む会

鈴木 すす

木 き

はじめ



大雪時のメディアの悲観的報道をどう感じるか

Q

大雪時の悲観的報道を市長はどう感じるか。メディアに対して言うべきことはないのか。移住・定住施策等に影響はないのか。

A

豪雪の状況が報道されたものであって、市を悪く報道されたわけではなく、捉え方によってはマイナスイメージを持たれることもあるかも知れないが、プラスに捉えてPRにつなげたいと思う。報道によって市のことを知ってもらえる。雪を利用した施策を展開している。そういう心意気で報道を否定せずに受け止めたい。やり過ぎの時もあるので、私も苦言を呈することもある。誇張されている部分もあるが、真実と異なる報道とは思えない。移住・定住施策への影響調査はしていないが、移住者は増えている。

無人駅の安全対策について

Q

無人駅は非常に無防備である。無人駅の安全対策は以前より進んでいるか。

A

なかなか打つ手がないのが正直なところだ。全国9,465箇所の半分が無人駅である。夜の警備員の配置、地元の協力による見守りの提案は難しい。防犯カメラの設置などを行うことはある。直通電話も設置され始めている。

Q

JR新潟支社長は女性である。女性の視点から無人駅の状況を見てもらいたい。私が案内をする。

A

約束はできないが、全体的話の中で伝えさせてもらう。JRとの様々な協議の中で、観光面も含め、あまり運休せずに人が乗る電車にすれば、安心感が出ると思う。



日本共産党議員団

かわ

川 辺

きのの



国民年金だけでも安心して入れる介護施設を

Q

訪問介護報酬が引き下げられ、ヘルパーも不足している。介護が必要な高齢者が在宅で暮らし続けることが困難になっている。一方で、特別養護老人ホームの入居に係る自己負担が高くて入居を諦めてしまふ人もいるのではないかとと思うが、どのような対応になっているのか。

A

食費、居住費、介護サービス費のほかに保険料や医療費等もかかる。補足給付を受けても、年金だけでの入居は難しいところもあるが、その人、一人一人によって負担額が変わるので、個別に相談を受けて、こちらでもできることを検討していくということに対応している。

予約型乗合タクシー導入の検討を

Q

令和6年度に策定した南魚沼市地域公共交通計画に記されているアンケート調査結果の評価を見れば、南魚沼市の事業として重点的に具体化すべき課題は、市民バスの利用向上と予約型乗合タクシーの導入ではないか。

A

アンケート調査は令和6年度に実施したものであり、時間が経っている。今の人員、お金の面だけではなく、運営の人手が不足し、公共交通が麻痺し始めてきているということをよく勘案して新しい政策づくりを進めている。要望としてたくさんあるのは分かるが、全部行うことはできないかもしれない。持続できるかということも含め、新しい道筋を示せるのは、そう先ではないと思っている。

新健診施設を健康寿命延伸につなぐ拠点に



市民クラブ
佐藤

さ

と

つよし
剛



Q

現状も特定健診データ等を活用し保健事業を進めているが、平均寿命と健康寿命は約10年の差がある。新健診施設では、健診結果のデータ化による分析、活用により、予防医療や生活習慣病対策、早期発見での早期治療、さらに新施設内にできる交流、食育、介護、軽運動スペース等を活用して、健康づくり、仲間づくりをしながら、「自分たちの健康は自分たちでつくる」という健康意識向上を、健康寿命延伸につなぐ、トータルな健康づくりの拠点として期待するがどうか。

また、以前からの課題である高齢者の受診手段の問題はどう進んだか。

A

新健診施設が総本山になって、地域づくり協議会等と健康増進に一体となって進め、地域に根差した活動にし

ていきたい。

受診手段の確保は、バス送迎が乗合タクシーか、手法や既存公共交通との関連性等もあり、関係部署で連携、検討を進めていきたい。

Q

大和地域に入院施設がなくなり、在宅療養を続けるために、「訪問看護」「訪問介護」「通い」「泊り」の介護サービスがある看護小規模多機能型居宅介護が、ぜひ必要だとの地域の声がある。

大和地域包括医療センター構想提案に具体的取組としてもあるが現状の考えはどうか。

A

入院機能を市民病院に集約し、今回8床増床する中で、現段階では問題ない状況だ。一方、訪問看護ステーションの利用者が増えており、将来的な課題として状況を見極めながら行っていきたい。

大和地域包括医療センターの移転について



未来創政会
大平

おお

だいら
平

ごう
剛



Q

骨太の全体計画では、令和9年度移転ということになっているが具体的な場所はいっす示されるのか。

A

医師の働き方改革の影響により、令和6年11月に、ゆきぐに大和病院を診療所化するという苦渋の決断に至った。

この施設の移転については、大和地域包括医療センターが在宅療養支援の中心となるよう、機能性や採算性を含めて検討を重ね、地域住民との協議を進めてきた。令和7年5月20日、大和地域包括医療センター運営協議会で、さらに地域住民からの意見を聴取した。そういう中で令和7年5月26日、医療対策実施本部会議を開き、交通体制の新しい在り方など様々勘案し、JR浦佐駅の東口を移転先として判断をさせてもらいたい。

Q

電子図書館サービス開設に向けての取組は

新潟市を除く新潟県内29市町村が共同で、住民に電子書籍を貸し出す電子図書館サービスの開設に向けて準備をしている。電子図書館が開設された場合どのような連携を行っていくのか。

A

現在、協議会を立ち上げ協議を進めている。電子図書館が開設された場合は、各市町村が、運営費を分担し、選書や広報などの運営全般を共同で行う。令和5年に導入された県立図書館の電子書籍貸出しサービスは、専門書や学術書が中心なので、今回の市町村の電子図書館では、一般書を中心に、県立図書館とのすみ分けを図る予定である。また、学校現場での電子図書館の活用も視野に入れて検討が進んでいる。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



南魚みらいクラブ

目黒哲也



街路樹・公園樹を管理せよ

Q 剪定基準や方法は。

A 予算の関係で回数を増やせず、強剪定をすることがある。降雪期の街路樹からの落雪による歩行者や車両の事故を防止するため、樹木が本来持つ美しい樹形を損なう剪定をせざるを得ない場合もある。

Q 今後の整備や管理は。

A 適切な管理により、快適な都市空間を維持していきたい。次世代に豊かな緑を引き継がせることも我々の責務である。我々だけが日本の象徴のような素晴らしい桜を愛で、次世代が見られない事態が生まれるかもしれない。今までの管理は効率を優先して樹形や景観への配慮が不足していたと思っている。真剣に考えてみたい。

行政ポイントについて

Q 導入した目的は。

A 市の事業やボランティア的な活動の参加促進を図り、継続的な健康づくりやまちづくりへ参加する動機づけに加え、行政と商店街が協働して経済の活性化を目指す。

Q 加盟店を増やす啓発活動は計画されているか。

A 加盟店拡大のために令和6年度から端末導入費の補助や加盟店募集などの取組支援を行っている。期間限定で買い物をすると、ポイントを10倍付与する事業や、アプリ登録者にポイントを進呈するキャンペーンを実施する予定である。顧客のリピート率の向上、売上の増加など、加盟効果やメリットがあるプロモーションをかけていきたい。



市民クラブ

寺口友彦



地盤沈下による上下水道管破断の危険を調査せよ

Q 上下水道管は、老朽化による破断のほかに地盤沈下による破断の危険性もある。六日町中学校敷地内に深い観測井戸を掘り、深い位置での地盤沈下の調査をするべきだ。

A 駅西地区での地盤沈下の危険性は以前から認識している。水道管について駅西地区の接合部分からの漏水の危険性がある。人工衛星調査や管路状況から地盤沈下区域の一部は漏水の危険性が高い。下水道管は漏水の危険性が高いヒューム管の調査を8,600メートルのうち7,000メートルで実施済みだ。六日町の2路線、五日町の1路線でクラックが見つかり修繕中だ。深井戸調査の必要性は十分認識しているが、費用がかかるため計画的に進めなければいけない。

学区再編を行政主導で急ぐべきではないか

Q 令和6年度出生数が大和地域58人、六日町地域96人、塩沢地域64人で218人だった。中学校区に1つの小学校という学区再編を行政主導で速やかに進めるべきだ。

A 令和6年度の出生数を見て児童数将来推計を再計算したところ、答申案より7〜8年前倒しが必要となる。およそ10年後には全体での統合というタイミングを迎える。減少の妥当性を検証し、ウェブサイトや市報で市民に知らせたい。地域でより深い現状認識と課題を見つめる場を持つよう進める。この数字を見て検討しないわけにはいかない。



未来創政会

永^{なが}
井^い
拓^{たく}
三^み



外国人の南魚沼市内の土地の取得について

Q 市内の外国人による土地の購入や不動産の再開発の実態は把握できているか。

A 外国人による土地の購入等の実態というのは把握することは困難である。はたしてこのままでよいのかという思いがするし、大きな問題だと考えている。

Q 市として水源地や森林などの資源を確保するため、外国人の不動産取得に対する規制をかけるなどの対策案はあるか。

A 新潟県水源地域の保全に関する条例で県が指定する水源地域の土地を売買する場合には、国籍を問わず事前の届出が必要となっている。県が届出を受けると、市町村に情報を出して意見を求めることになっており、水源の保全に支障が

ある場合は県に対して意見を具申することはできる。



六日町中心市街地の駐車場について

Q 我々の地域は車が移動の中心である。六日町駅前のロータリーに、送迎スペースを確保できないか。

A 駅前広場の区画を変更するような大規模な改修整備は、駅前ロータリーだけではなく、県道六日町停車場線などを含めた駅前全体に関わってくる。検討が必要である。

障がい児支援と居場所づくりの推進を

Q 児童発達支援・放課後等デイサービスの利用状況と課題をどう評価するか。

A 支援決定者の数について、児童発達支援は2年前の2倍、放課後等デイサービスは5倍強に増えたが、魚沼市と比べて利用者は少ないので、潜在的なニーズはあると考える。関係機関と連携強化を図り、必要に応じた支援を行っていきたい。

Q 5歳児健診の体制をどう整備するのか。

A 国が示す5歳児健診に近い体制で実施しているが、医師の診察が伴っていないので、今後さらに体制を充足・充実できるよう研究を重ねる。

Q 保護者も含めた居場所づくりが重要ではないか。



市民クラブ

田^た
中^{なか}
せつ子



A 12地域の拠点でいろいろな事業を共有できる場所として行っているという意識込みである。

保育施設と小中学校の危機管理は十分か

Q 子どもの減少に伴い職員数が少ない中で不審者対応の訓練は十分か。

A 保育施設は担当を明確にした訓練を毎月1回実施している。小中学校は監視カメラを設置し、警察から指導と協力を得て教職員全員で訓練を実施している。

Q 給食の異物混入対策や漂白剤誤飲事故等への安全対策はどうか。

A 教室内に不要な物品等が放置されていないか点検を指示し、飲用水の安全確保と管理の徹底を全ての教職員に指導している。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀



健康寿命延伸のための肺炎対策について

Q 現在、市で行っている健康寿命延伸のための肺炎対策は。

A 肺炎は、基礎疾患があることで重症化しやすいと言われており、生活習慣病の早期発見による予防や治療が重要だ。そのため、住民健診の受診率の向上に取り組み、健診結果によっては早期の専門医への受診の勧奨や保健指導を実施するなど、重症化予防に取り組んでいる。また、喫煙は呼吸器疾患のリスクを高め、肺炎を発症した際に重症化するリスクがあることから、喫煙をしない取組として、中学生向けの講習会を毎年行ったり、成人の喫煙者には保健指導により禁煙を促すなど、様々な手法による啓発を行っている。さらに、口腔内の健康も体全体の健康や肺炎予防に大きく影響することから、節目

の年齢になった人たちに歯科健診費用助成や口腔に関する健康教育を実施している。

Q 肺炎を引き起こすウイルス感染症がある。特に重症化する高齢者に対してRSウイルスワクチン接種に対する公費助成の考えはあるか。

A 高齢者のワクチン接種については、令和6年9月4日に開催された国の厚生科学審議会の予防接種ワクチン分科会で議論を継続するとされている。国の動向を見定めながら研究していく段階だと考えている。



南魚みらいクラブ

桑原 圭美



第3次南魚沼市総合計画（素案）について

Q 第3次南魚沼市総合計画の素案が示された。最も重要な課題は、人口減少対策であると考えている。人口減少による経済活動の縮小に対抗しなければ、税収が減り、医療や福祉の維持は難しくなる。10年後のまちづくりをどう考えるか。

A 合計特殊出生率を上昇させること。そのために、20代、30代の転入の促進と転出の抑制を図る。結婚して子供を産み育てることに明るい希望が持てる社会づくりをする。

Q 小学校高学年の放課後見守り隊へのニーズ対応は。

A 本間にニーズが正しいのか、都会と一律にこのようなことを行っているのかという思いがある。

Q 始まったばかりの魚沼基幹病院での産後ケアの状況は。

A 要望は多くなっている。利用は、ますます伸びると予想する。

Q 農業振興の部分で、ふるさと納税は好調であるが、離農を検討する農家が多い。離農を防ぐための施策とふるさと納税を組み合わせることはできないか。

A ふるさと納税に取り組んだことで離農方向に歯止めがかかったと考えている。

Q これだけ人口減少が進んでいく中で、病院事業に積極投資を続けて大丈夫なのか。

A この地域で適切な医療を行うための基盤整備であり、経営も成り立つと考えている。



市民クラブ

梅沢 道男



柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について

Q 原発の重大事故発生時には、当市も柏崎刈羽地域の緊急時対応に基づいて、避難計画を実行することになるが、この緊急時対応には十分な実効性があると考えているのか。

A 現在の緊急時対応案では、十分とはいえない。大雪の時の除雪など様々な課題があるので、そう簡単ではない。

Q 緊急時対応では、小千谷市などから避難民2万5,000人を市内51か所の避難所で受け入れるが、避難所の運営に多くの懸念があるのでは。

A 国では避難所の1人当たり面積を1.65平方メートルとしているが、被災者の尊厳ある生活という観点では大変憂慮している。このとおりにはいかないぞという思いだ。

Q 小千谷市から1万4,000人が避難してくる時に、南魚沼市は1人も避難する必要がなく、その受入れに専念できるということは、私には夢物語に思えるが、考えは。

A 私は、そこまでのことになるわけがないと思っている。私の持論だ。そこまではないと私は信じている。

Q 避難計画はあるが「そんなことにはならない」というのは、新たな安全神話だ。福島県ではあれだけの事態になったが、今度こそ重大事故は起きないということで、市民が納得するの。

A 福島県のような重大事故を防ぐための努力を物すごくしている。事後の検証も行われていることを、十分考えなければいけない。南魚沼市民が逃げるような状況まで行くことはないのではないかと話をしていく。



日本共産党議員団

中沢 道夫



国民健康保険税の引き下げについて

Q 県への納付金は、令和6年度に比べ1人あたり0.87%の増になっている。全県平均でも1.31%の伸びだが、南魚沼市では令和6年度に比べ、27%を超える税率の改定が必要になった根拠は。

A 事業費納付金の1人当たりの増加率と税率の改定率は、単年度の増加率だけを見ればそうなるが、平成30年度から国保税率を据え置いたため、基金から2回の繰入れを行ってきた。令和7年度の当初予算が組めない見込みとなったためである。

Q 国保税の負担軽減のためには、国、県、市のいずれかが、財政負担を増やすことなしに軽減はできない。そこで、国民健康保険の運営主体となった県に、一般会計からの法

定外繰入れを行うよう求める考えはないか。

A 保険給付は原則保険料で賄うという本来の事業運営が強く求められている。県の一般会計の繰入れで、安定化させるという考えはない。

Q 新潟県の第2期国保運営方針では、保険料水準の統一について、令和12年度から現状の医療費水準の反映を行わないこととしている。市としての対応は。

A 南魚沼市は、県内の他の市町村に比べて、医療費水準は低い。医療費水準が反映されなくなると納付金は上昇する。国保税への影響をできる限り抑えられるように、激変緩和措置や、市町村の取組努力が評価をされるように、その他の調整措置を行うよう強く求めているところである。



通告書はこちら

各議員の氏名の下のQRをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



歩む会

牧 まき

野の

あきら



市の交流人口を増やせ

Q

湯沢町のように、固定資産税の通知書を市外納税者に送付する時は、市内施設の各種割引券を同封し、交流人口をさらに増やすべきでは。

A

通知書に、割引券等を同封することは考えていないが、国がふるさと住民登録制度というものを考えている。出身者、ゆかりある自治体の住民、リゾートマンション所有者なども対象になると思う。この人たちに地域の情報を提供したり、公共施設を利用できるような仕組みを想定し、割引券だけではなくて準住民的な、市民に近いような形の制度設計が進められるような機運が高まってくると考えている。

また、南魚沼ふるさと応援隊のメール登録者が、1万8,000人と大規模なものになっている。これも利用し、あの手に

の手で交流人口を増やすことを考えている。



住みよい環境を

Q

六日町駅を早朝5時12分に発車する電車があるが、防音壁を設置しては。

A

ほくほく線とJR上越線の線路の分岐点を通過する際の音が大きいと聞いている。北越急行が、この分岐点のレールを交換したことで騒音が、8デシベル下がり、71デシベルとなった。今後も対応策について調査していきたい。



未来創政会

中 なか

沢 ざわ

一 かず

博 ひろ



物価高対策に早急な支援を

Q

物価高に苦しむ家計支援として、国の交付金を活用して早急な支援が必要ではないか。

A

住民税非課税世帯の給付金、福祉灯油購入費助成、高齢者・障がい者施設の支援、学校・保育園の給食費の負担軽減、農業者への支援、大学生保護者の生活支援、地元商店街への活性化支援等に取り組んできた。今後も検討していきたい。

Q

観光産業の存続・発展のために老朽化した設備やLED化等への補助金制度の創設が必要と考えるが。

A

社会情勢や国・県の動向を注視し考えたい。

Q

商店街のポイント制度の加盟店は、現在58店舗

A

しかないため、事業者も生活者もメリットが少ない。戦略的な促進策が必要と考えるが。

事業者が負担感なく取り組んでいける体制づくりと地元商店街への活性化支援等を今後も検討していきたい。

Q

自然災害が激甚・勃発化する中、避難所として活用される体育館の空調設置は急務である。また児童生徒の熱中症対策としても必要と考えるが。

A

安全な教育環境の確保を計画的に進めたい。夏季の高温対策と避難所としての役割は重要である。現在、基本計画を進めている大和中学校には導入する予定である。令和7年度は六日町中学校の武道場に水冷式送風機の設置を試験的に行うので、効果を見たい。

学校体育館への空調設置の加速を



歩む会

塩谷 寿雄



地域コミュニティ事業について

Q

市長は公約で地域コミュニティに職員を2人配置したいと言っていたが、どう活用するのか。人件費も1億円以上かかると思う。職員の枠を超え有害鳥獣駆除や、出張行政、高齢者の見守りなども考えられるがどうか。

A

地域コミュニティへの職員配置については、12地域の力を借りなければ成り立たない時代だと認識している。市長選挙で2人体制と言っていたが、職員配置には至っていない。大和地域で地域おこし協力隊と集落支援員を配置し職員に先駆けて行っていると考えてもらってもよい。

Q

以前にも質問したとおり、みどりナンバーや民業圧迫などの問題点もあるが、市民バスをコミュニティ単位でのデマンド型タクシーで運行できないか。

A

公共交通を含む地域づくりは、小高副市長を先頭に検討を進めている。

Q

地域コミュニティには、各地区の要望が市で精査され、事業が実施される。地域コミュニティの予算を増額することで全体的には、市民の要望に応えられるのではないか。

A

私は以前から増額するべきだと思っているが、まだ着手ができていない。増額とはこの時点では言えないが、地域の細かい事業を行うことが効果的なのは十分わかっている。



無所属

勝又 貞夫



ふるさと納税返礼品の米は確保できるか

Q

令和7年度のふるさと納税の受付状況はどうか。

A

ふるさと納税の寄附額は毎年右肩上がりが増えてきた。令和7年度は令和の米騒動の影響により、6月1日時点で、寄附額は約14億5,026万円で、前年対比285.3%で想定以上の受付状況である。

Q

連日のように米不足のニュースが流れているが、市のふるさと納税の返礼品（コシヒカリ）については量を十分に確保できるかどうか、その見通しはどうか。

A

米は農産物なので天候実面があるが、量の確保は重要と考えている。寄附者への返礼品の不足や発送の遅延などは絶対にあってはならないことであり、確認して進めている。



ふるさと納税返礼品の一例

農業用機械整備支援事業を継続せよ

Q

4月1日から受付が始まった補助金は、大変好評であった。今後も継続してほしいとの声がある。一般的な農業用機械の耐用年数を考えれば、7年ほど続けるべきではないか。

A

7年間の継続については、財源の問題もあり今は答えることはできない。制度設計や周知の方法などを見直し、公平な形で実施できるよう検討していきたい。

議会報告会 & 意見交換会「市民との集い」 ご参加ありがとうございました

◎開催日時等

会場	日にち	場所	時間	参加者数
六日町会場	令和7年5月12日(月)	市役所本庁舎	19:00～20:45	14人
大和会場	令和7年5月13日(火)	大和公民館	19:00～20:45	17人
塩沢会場	令和7年5月14日(水)	塩沢公民館	19:00～20:45	10人



六日町会場



大和会場



塩沢会場

報告書はウェブサイトでご覧いただけます➡



令和
6年度

南魚沼市議会政務活動費収支一覧

政務活動費は、議員の調査研究などの活動に必要となる経費の一部として市から交付されるものです。南魚沼市では、議員1人当たり月額1万7,000円を半年ごとに会派（無所属の場合は議員個人）に交付しています。令和6年度に政務活動費がどのように使われたか、お知らせします。

会派名	南魚みらい クラブ (8名)	歩む会 (4名)	市民クラブ (4名)	未来創政会 (3名)	日本共産党 議員団 (2名)	黒岩揺光	計 (22名)
交 付 額	1,632,000	816,000	816,000	612,000	408,000	0	4,284,000
支 出	調 査 研 究 費	1,402,657	654,370	340,000	477,414	0	2,874,441
	研 修 費	209,300	0	76,550	0	0	285,850
	広 報 費	0	0	196,919	0	402,542	599,461
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0
	資 料 作 成 費	0	0	0	0	0	0
	資 料 購 入 費	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0
	計	1,611,957	654,370	613,469	477,414	402,542	3,759,752
返 還 額	20,043	161,630	202,531	134,586	5,458	0	524,248

会派名	内容
南魚みらいクラブ	●視察 令和6年8月1日～2日 8名参加 オガール企画合同会社（紫波町）：オガールプロジェクトについて 遠野市：地域おこし協力隊制度による起業家人材育成・定住促進について
	●研修 令和6年10月21日～22日 2名参加 全国市町村国際文化研修所（大津市）：議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～
	●研修、視察 令和7年2月12日～14日 8名参加（14日6名） 地方議員研究会セミナー（京都市）：病院事業会計の着眼点を学ぶ 琴平町：琴平町部活動の地域移行について 坂の上の雲ミュージアム（松山市）：明治の松山市の歴史と文化、どのように展開しているか
	●視察 令和7年3月28日 8名参加 自治体DX化と業務の効率化、人口減少 地方の課題と解決方法（千代田区）
歩む会	●視察 令和6年8月20日～22日 4名参加（20日3名） 三沢市：起業家支援事業費補助金について 仙台市：震災遺構 仙台市立荒浜小学校 仙台市：仙台市博物館
	●視察 令和7年2月4日～6日 3名参加 雲仙市：移住、子育て支援政策について 島原市：ロケツーリズムについて 大村市：ミライ on 図書館について
市民クラブ	●視察 令和6年5月14日～15日 4名参加 大潟村：大潟村バイオマス産業都市構想によるもみ殻利活用について 大仙市：大仙市もみ殻ボイラー推進事業、スマート農業モデル創出事業について
	●視察、研修 令和6年7月26日 4名参加 新潟市：もみ殻燃料モニター事業について 株式会社 緑夢環境（新潟市）：もみ殻燃料モニター（実施内容）について
	●研修、視察 令和7年1月22日～23日 4名参加 地方議会議員政策セミナー（千代田区）：「空き家対策」から考える地域のみらい ー多主体連携による政策デザインの変革 ・地域議会の役割ー 狭山市：狭山市いりそ次世代支援センター（あいぱれっと）の子育て支援等について
	●会派広報誌「広報市民クラブ」発行（第16号）
未来創政会	●視察 令和6年4月16日～18日 3名参加 北区：東京都北区スポーツ推進計画について 気仙沼市：ふるさと納税推進のための取組について さいたま市：消防活動用無人偵察システム（消防活動用ドローン）について
	●視察 令和6年5月20日～21日 3名参加 桑名市：多世代共生型施設（桑名福祉ヴィレッジ）整備事業について 三島市：Kintone（キントーン）を使った校務のDX推進について
	●視察 令和7年1月30日～31日 3名参加 鈴鹿市：認知症対策について 朝日町：朝日町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと総合戦略について
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行（第71号・第72号・第73号・第74号）
黒岩揺光（～R6.11.17）	申請なし

令和6年度会派視察報告書はウェブサイトでご覧いただけます➡



議会カレンダー (予定)

定例会予告

定例会は9月1日～9月19日の予定です

9月1日	月	本会議	8日	月	本会議 (一般質問)	15日	月	休会
2日	火	本会議	9日	火	本会議 (一般質問)	16日	火	本会議 (決算審議)
3日	水	社会厚生委員会	10日	水	本会議 (一般質問)	17日	水	本会議 (決算審議)
4日	木	産業建設委員会	11日	木	本会議 (決算審議)	18日	木	予備日
5日	金	総務文教委員会	12日	金	本会議 (決算審議)	19日	金	本会議
6日	土	休会	13日	土	休会	本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階の議場で行います。		
7日	日	休会	14日	日	休会			

議会傍聴に来ませんか

市議会の活動を知ろう



市役所本庁舎の3階議場入口に「傍聴受付簿」があります。住所、氏名、年齢を記入し、「傍聴受付箱」に入れてください。



傍聴入口から入ってください。携帯電話や電子機器の電源は切りましょう。



空いている席に座ってください。傍聴席での録音や撮影、おしゃべりなどはできません。

毎年3月、6月、9月、12月に行われます。どなたでも傍聴できますが、児童及び乳幼児が傍聴席に入るには議長の許可が必要となります。詳しい日程は、市報または市ウェブサイトを確認いただくか、議会事務局 (☎ 773-6650) までお問い合わせください。

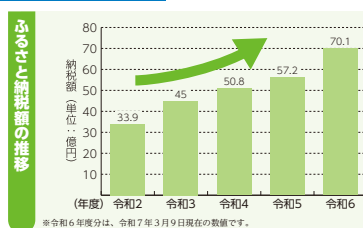
事前の予約は必要ありません。
ぜひ、議会を見に来てください。
★お待ちしております★

議会だよりのご意見、ご感想をお待ちしております!

宛先：議会事務局 (☎ 773-6650) またはQRコードをご利用ください。



お詫びと訂正



議会だより第82号(令和7年5月1日発行)3ページの「ふるさと納税額の推移」のグラフにおいて、内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
訂正前) 令和5 56.1
訂正後) 令和5 57.2

編集後記

ちまたでは、コメの価格高騰が大きな話題となり、南魚沼市のふるさと納税も南魚沼産コシヒカリを中心に、対前年比3倍に迫るほどの勢いです。

しかし、農家数の減少にも歯止めがかからず、連日の猛暑の中、水稻の生育も心配になるなど、合併20年を迎えた南魚沼市においても、行政の抱える課題は尽きることがありません。

この議会広報では、そんな南魚沼市の政策や議会での議論の様子を、皆様に分かりやすくお伝えするため、編集委員一同、工夫しながら編集作業を進めています。皆さんの感想やご意見をいただければ幸いです。

梅沢道男

議会広報編集特別委員

委員長 川辺きのい
副委員長 大平剛
委員 目黒哲也
委員 梅沢道男
委員 塩川裕紀
委員 牧野晶

〃 〃 〃